

# こもれびの森 ウッドランドクラブ通信8月号

宮城県こもれびの森森林科学館 2012年8月25日発行  
栗原市花山字草木沢角間10-7 tel/fax 0228-56-2330

7月28日、こもれびの森夏休み恒例の「ウッドランドクラブ」が開催されました。朝からどんと晴れ、90人を超える親子連れや山形県の友好団体からのおいでもあり大いに盛り上がりました。

川遊びやイワナ掴み、草むらでは昆虫観察、ソーメン流し、イワナの塩焼き、そしてくんせい作り。スイカ割りまでやりこどもたちは大喜び…。午後には夏休みの自由研究で工作をする子も多くいました。それにしてもメニューが多く…。付き添いの親御さんたちは目を回しています。山形遊学の森豊後さん、花山地域起こし隊の阿部さんからのご支援をいただいたり、栗原市広報からは取材もありました。準備から実施までしてくれたサポーターの方や職員の方、本当にお疲れさまでした。

今、当館は「アブのテロ」に悩まされています。ハチ類と違って自ら吸血しにヒトの肌を狙ってきます。クルマの排ガスに反応するようで、エンジンをかけるとたちまち寄ってきて、窓にぶつかって中に侵入しようとしています。春や秋はカメムシで悩まされ、夏はアブ…。ああ。



イワナの塩焼き、あめ色になるまでじっくり焼きます



皆さま、気が付きました？  
玄関脇に「ウエルカムボード」が来館の方を迎えています。良くできていると、多くのかから感想をいただいております。自分で作ったわけではありませんが嬉しいです。

先月号でハチ刺されの話題を紹介しました。又、ハチの巣を見つけました。当館クラフトコーナーの外壁の上の方にあります。巣の中に幼虫がいるのか、外にいるハチたちは盛んに羽ばたいて空気を送っています。扇風機の代わりなのでしょう、幼虫を暑さから守っています。高い所なので立ち入り禁止にして観察していきます。絶対に巣を突いたり、近づかないでください。スズメバチやアシナガバチは巣を攻撃されたり、近づかないかぎり襲ってはこないはずです…。



フタモンアシナガバチの巣



## ひげNEWS!

当館のヒゲ職人、今度はくん製器を作ったぞ。鉄板製のキャビネットを利用、内部には食材を吊るす針金を付け、意外と簡単に作りました。参加者が持参した笹かまやベーコン、ゆで卵などを中に吊るし、3時間くらい燻しました。燻された表面にはさらに味がついて内部にうまみを閉じ込める。今回は初めてでしたが、うまうまきました。

(ウッドランドクラブのご案内) 9月分

★9月8日(土) 10時～14時 雑草でハンカチを染めよう、ソーメン流しもやります。

★9月30日(日) 10時半～12時半 初秋の自然観察会とお茶会

(24年度みやぎ自然環境サポーター養成講座受講生募集)

★9月16日(日) 10時～15時 場所: 森林科学館

森づくり概論と自然体験イベントの運営、クラフト実習

※申し込み、お問い合わせはお電話でお願いいたします。